

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和5年2月24日
第61号



先日、私が通勤で車を走らせていると、桜花台の信号機のない横断歩道で、桜小学校の低学年と思われる子が道路を渡ろうと待っていました。私が横断歩道の手前で止まると、「ペコリ」とお辞儀をして手をあげて横断歩道を渡っていきました。ここまでならよくある光景ですが、その子は渡り終わるとこちらを振り返り、もう一度「ペコリ」と頭を下げて歩いていきました。自然とこんなことができるってすごい子だなあと感心しました。

桜台小の子どもたちも園芸ボランティアさんが作業をしてもらっている時に、そばに近づいてお礼を言っているそうです。朝の「おはようございます」というあいさつを交わすことはもちろん大切なことですが、自分にやさしくしてもらっている人や学校でお世話になっている人に感謝の気持ちをあらわせることは、とても大切なことだと思います。さまざまな活動の中で、自然とそんな気持ちが育っていくことを願っています。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。

6年生を送る会リハーサル公開を行いました。

2月22日(水)の1、2限目を使い、体育館で各学年の「6年生を送る会リハーサル公開」を行いました。感染症対策のため、時間を区切り、学年ごとに入れ替えて実施をしました。各学年10分から15分間程度の短い発表時間でしたが、それぞれの学年が工夫をこらし、本番さながらに歌ったり、演奏したり、踊ったり、呼びかけをしたりしていました。保護者の皆様には、子どもたちが一所懸命やっている姿をご覧いただけたのではないかと思います。リハーサル公開は、コミュニティスクール委員の皆様にも参観いただきました。子どもたちの姿を見られ「オンラインで会話ができるような社会になったが、子どもたちには直接会って、人と人のかかわりをしっかりと体験してほしい」と願いを寄せられる委員の方もみえました。保護者の皆様には、寒い中、感染症対策にご協力いただく中での参観となりました。ご理解・ご協力、本当にありがとうございました。



登校見守りを、マスクをはずして行っていただきます。

三重県は、3月13日以降、マスクの着用を個人の判断に委ねると発表しました。改定前の指針では、屋内で会話をする場合や人との距離がない場合について、マスクの着用が推奨されていましたが、いずれも個人の判断に委ねられることとなります。政府においては、卒業式について、児童がマスクを着用せずに出席することが基本とされ、学校現場では、新年度の4月1日からマスクの着用を求めないことが決まっています。

本校では、現在、屋外で遊ぶときもマスクをはずす恥ずかしさもあってか、多くの子どもたちがマスクを着用している状況です。国や県の方針を受け、子どもたちが自然とマスクをはずすことができるように、「桜台小学校見守り会」の皆様にお申し、まずは、登下校において子どもたちがマスクをはずせるように、2月27日(月)よりマスクをはずして登下校見守りをしていただく事をお願いしました。また、登下校の際には子どもたちに「外ではマスクをはずしてもいいんだよ」と、声かけをしていただきます。お知りおきください。(文責 北住 昌文)